

シンポジウム 2

「下部消化管疾患の基礎と臨床の接点」

司会 加藤 伸一（京都薬科大学病態薬科学系薬物治療学分野）
高木 智久（京都府立医科大学消化器内科）

日本潰瘍学会では、胃・十二指腸潰瘍を中心とした上部消化管疾患の病態解明から、炎症性腸疾患、感染性腸炎や薬剤性腸炎、過敏性腸症候群などの下部消化管疾患の病態探求へと研究分野が大きく広がってきた。下部消化管疾患のなかでも、特に炎症性腸疾患領域では多くの新たな薬剤が登場し、一定の治療成績が得られるようになってきたが、病因・病態の解明や治療法の確立は必ずしも十分とは言えない。本シンポジウムでは、下部消化管疾患を対象に、基礎と臨床で得られた知見を融合し、新たな治療戦略の提案を目指し企画された。基礎と臨床からの多くの演題の応募をお待ちしています。